

風車及び除雪ステーション見学・学習

背景

郡山市立三代小学校では、福島県生活環境部より「うつくしまエコライフ実践モデル校」の指定を受け、環境保全について学び、また、省エネルギーに全校を上げて取り組んでいます。今回の見学学習では、自分達の身近にクリーンエネルギー利用施設があることとその意義について、体験を通して学びます。また、社会を支えるために働いている人々の姿を通じて、自分達の生活を考えることで、学習への興味関心を高めることをねらいとします。

内容

郡山市立三代小学校の総合的な学習の時間「きらきら教室」において、クリーンエネルギー利用施設である、郡山国道工事事務所の49号中山峠風力発電によるロードヒーティング設備と猪苗代除雪ステーション、及び、東京電力㈱の沼上水力発電所の見学学習を実施しました。見学学習では、対象児童が小学校低学年であったことから、児童用のリーフレットや風力発電の模型を用意するなど児童が興味を持てるように工夫しました。



模型を使ってわかりやすく体験学習



除雪ステーションで説明を聞く子供たち



児童用に使用したリーフレット

ポイント

- クリーンエネルギー利用施設の見学を通して、児童の環境保全意識の向上と活動意欲の向上を図ります。
- 見学学習を通して、学習への興味関心の向上及び知的好奇心を掘り起こします。
- 学校、家庭、地域が一体となり、地域の自然や文化、人と触れ合いながら、ふるさとの素晴らしさを知る体験的学習

を目指します。

- 社会を支えるために働いている人々の姿を直視させる体験的学習を通して、社会の発展や人々の幸福のために努力している人々の願いや思いを学ばせ、思いやりのある心豊かな子供の育成をねらいとします。

DATA

場所：福島県郡山市、猪苗代町(49号中山峠風力発電設備及びロードヒーティング)
(49号猪苗代除雪ステーション)(東京電力沼上水力発電所)
実施者：郡山国道工事事務所 地域づくり推進室 [TEL (024) 946-0333]
参加者：郡山市立三代小学校1～3年生児童 19名、先生2名
協力者：東北電力㈱
実施日：平成12年9月22日
学習時間：3時間

関係する分野

環境 交通 社会 地域 歴史 福祉 健康

成果

クリーンエネルギー利用施設の見学を通して、子供たちに地球の環境保全の大切さを感じ取ってもらいました。また、小学校では、「きらきら教室」の様子を記録したビデオを各家庭に回覧したり、参加した児童を通じて、家庭や地域にも省エネルギー活動が広がっています。子供たちの学習を通じて、学校・地域・家庭のネットワークが広がりつつあります。

参加者の声

「雪がふっても道路がこまないように、風車で道路をあたためたりして、まもっているのがわかりました。それに、風車もいろいろなかたちをした風車もあることが、わかりました。」

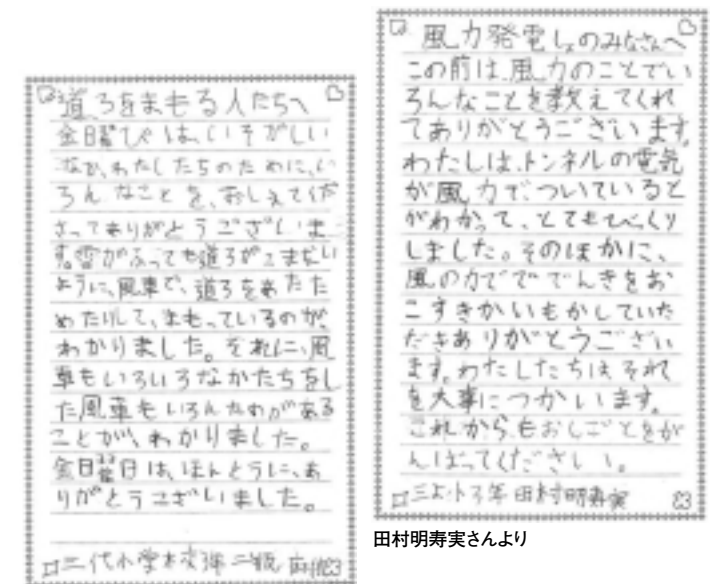
(郡山市立三代小学校 3年生)

「わたしは、トンネルの電気が風車でついているとわかって、とてもびっくりしました。そのほかに、風力で電気をおこすきかめかしていただきありがとうございます。わたしたちは、それを大事につかいます。これからも、おしごとをがんばってください。」

(郡山市立三代小学校 3年生)

「きらきら教室に行ってから、自分から水を止めたり、電気を消したりするようになりました。」

(保護者の声)



お世話になった人へ 二瓶麻依さんより

田村明寿実さんより



風力発電の模型

次のステップに向けて

- 湖水熱や地熱を利用したロードヒーティング(現在事業中)を教材とし、自然エネルギーについて学習することも考えられます。
- 単なる現場見学的にならないよう、働く人々の願いや思いが児童へ伝わるような社会学習への取り組みも考えられます。